

現代町家～長州町家～



◇ 長州町家のこと。

この冊子は、

現代町家～長州町家～
を、より知っていただくため、
「読み物」のようなつくりかたで
まとめられています。実際の、
空間を体験しているような気持ちで
読みすすんでみてください。

建物の基本設計・意匠監修は、
建築家・趙海光(チョウ ウミヒコ)さん。
コーディネイト・施工・緑化を、
株式会社カネイが担当。

このほかにも、

地場産天然石の情報を
いただきました、
Nさま。

田園や畦道に植生していた
「野草や土」をこころよく譲って
いただきました、
Kさま。

野草のこと、御指南いただきました

山口県周南市を拠点として
活躍されている
Oさま。

そして、現場をささえていただいた、

たくさんの「つくり手」の方々の、
もてる「情熱」と「ちから(ワザ)」で、
山口県山口市に、誕生の「産ぶ声」を
無事、あげることができました。

こうした、みなさま方への

感謝と御礼の気持ちをこめて
どうぞ、現代町家～長州町家～
をご堪能いただければとおもいます。

そして仕上は、現代町家・長州町家
へ「彩」をそえていただくのは、
住まい手となる、ご家族みなさま方の
「熱(エネルギー)」と「ちから」です…。

現代町家は、

「町家憲章」をコンセプトとして
つくられています(△部:憲章文引用)。
△美しい街並み・景観をつくること



山の稜線へと、流れのような「片流れの屋根」と、昔ながらの土壁をモチーフにしたような「下屋」壁面の凹凸が、落ち着きとともに、精悍な佇まいをみせています。また、敷地内に配された石は地場産の天然石(分譲住宅地の造成にも使われています)を配し、職人の「手」による仕事となっています。

△緑に溢れる家であること



通りに面し、コウライシバによる法面緑化を施し、ベンチ傍には、シンボルツリーとして「マテバシイ」を植樹、北庭から「ホルトノキ」「ヤマボウシ」など、国内の樹木を選定しています。

△長い必要・好み・寿命に応える家であること
△地震で倒れない家であること



スケルトン(構造)・インフィル(設備・内装)を考えた「すまい」をつくります。「かわるもの(内装・設備・家具など)」と、「かわらないもの(構造・躯体など)」とをよくみきわめ、整理をすることがとても、たいせつです。

あまり必要性を感じないものに、お金をかけることは、もったいないですね。「いま(現在)をかたち」にするのではなく、家族の「くらしかわり」をかんがえること、が「すまいづくり」なのです。また、できあがったすまいが、地震や台風などで壊れてはいけません。長州町家は、性能表示の「耐震等級2(以上)」をまもり倒壊しない住宅をつくります。

◇風がよく通る家であること



長州町家は、「引き戸」を多用します。お客様がいらっしゃるときや、季節に応じて「開けたり閉めたり」できる、ちょっとした可動式の間仕切にもなります。窓と組み合わせて使うと、室内の「空気流れ」をよくしてくれます。

◇きれいな室内空気の家であること

◇木をたくさん用いる家であること
◇土・紙などたくさん用いる家であること



長州町家は、山口県産の杉材を

柱・梁(桁)などに、「適材適所」で使用しています。

また、むかしながらの材料(しっくい・和紙・珪藻土・無垢板材)を、バランスよくつかっています。

「天井の高さ」や「開口部(窓)」「あかり(照明)」などが、材料本来のもつている質感を惹き立たせてくれています。

そして、これらの材料はデザインだけでなく、室内の「湿気」や「ニオイ」などを、うまく「吸ったり・吐いたり」しています。

◇楽しくお手入れできる家であること



「デッキ」や「一坪里山」は、住まい手の工夫と知恵で年々、成長していきます。一坪里山に植えられている野草は、「田園や畦道」に生えていたもの。カセット式の「里山」で育成したもの、「庭の余白部分」に植え替えたり、ご近所などと分けあいながら、その地域ごとに四季を織りなす繊細な花をつける野草を残していくればとおもいます。「あるべき場所にあるがまま」が、じつはいちばん「美しい」のです。

◇その家は前を通る人の家であること



いろいろ夢がふくらみます

「すまい」は、まわりから閉ざすものではありません。むしろ、積極的にご近所との関わりあいをつくっていくための「装置」であると考えたほうが自然です。

「ベンチ」や「シンボルツリー（マテバサイ）」など「おとな・こども」が集まる「しきけ」が、ここにはあります。

この「現代町家～長州町家～」から、次の世代に受け継がれる「もの」を、くらしのなかで家族の成長とともに育んでいきたいとおもいます。



交信するデッキテラス



家族の暮らしは、ここから...。

長州町家のみどころ

南北に用意した「落葉塚」。
異なる生態系が生まれます。

陽光あふれる
水まわりと収納。

大工さんが創った
ベンチの座り心地。
京町家の
「ばったり床几」を
想起させてくれます。

通り土間のような玄関。
水平方向へ拡がります。

「隠れ家」的な和の空間。
飾ったり、仕舞ったり ...。

「一坪里山」。
何処にでもある野草を
育てています。

大工さんの創った「デッキ」と「ベンチ」。
それに呼応するような「イシニワ」。
「カンモンカイキヨウ」「ガソリュウジマ」
を模しています。

造作間仕切が生む、一間（ひとま）の贅。
暮らしの中心がここにあります。
台所後方のパントリーも必見です。
そして、一間ゆえの暮らし方への多様性
がみえてきます。



緑化

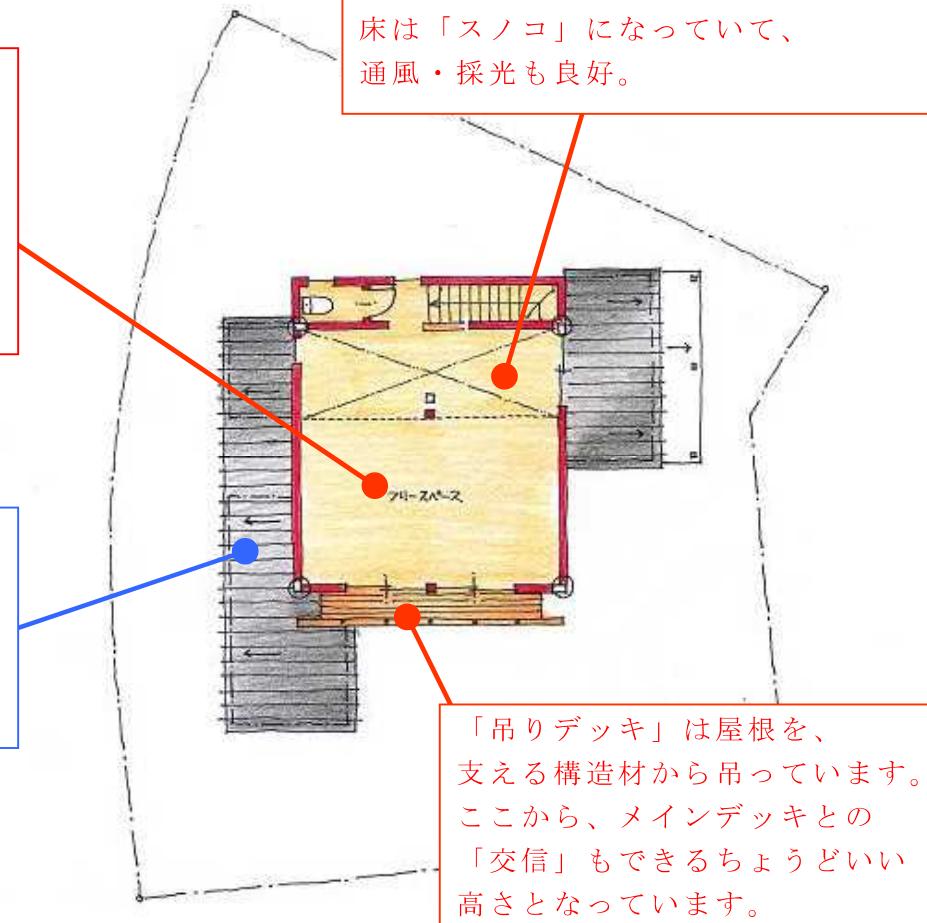
- ◇ 玄関横: マテバシイ(常緑高木)
- ◇ 物干デッキ: ホルトノキ(常緑高木)
- ◇ メインデッキ: モミノキ(常緑高木)
- ◇ 主庭: ヤマボウシ(落葉高木)
ソヨゴ(常緑高木)
- ◇ 一坪里山内: ホトケノザ
シロバナタンポポ
コオニタビラコ
ナズナ
ゲンノショウコ

- (フナ科)堅果(ドングリ)別名マテバガシ・サツマシイ
- (ホルトノキ科)別名マガシ
- (マツ科モミ属)
- (ミス'キ科ミス'キ属)
- (モチノキ科)
- (シリ科オトリコソウ属)2年草
- (キク科タンホ'ホ'属)他種に比べ弱々しい感じ
- (キク科ヤブタビラコ属)春の七草「ホトケノサ」は、本種
- (アブラナ科ナズナ属)2年草。ベンベングサ。
- (フウロソウ科フウロソウ属)薬草(下痢止め)。ミコシグサ。

第二の「広間」です。
ご夫婦・子供2人くらい
の個室空間はとれます。
フリーにしておくことによ
つて「生活耐用年数」
が確実に伸びてゆきます。

ロフト部分は、こども達の「隠れ家」。
もちろん、収納としても使えます。
床は「スノコ」になっていて、
通風・採光も良好。

通りに面して張り出した
「玄関・隠れ家下屋」。
メインデッキを中庭的に
仕切る「役」も成して
います。



◆建築物データ

床面積	1階 63.50 m ² (19.21坪)
	2階 42.00 m ² (12.70坪)
	合計 105.50 m ² (31.91坪)
設備	ガス給湯設備 公共下水道 上水道 電気設備 給排水設備 換気設備(24時間換気含む)
構造	木造在来軸組工法
外壁	ジョリパット吹付け仕上(ラスモル下地)
屋根	ガルバリウム鋼板タテハゼ葺き
開口部	Low-e ヘアガラス断熱サッシュ
断熱	屋根・壁・基礎断熱
耐力壁	面材耐力壁(モイス)
基礎	一体型ベタ基礎(30N/mm)
外部木部	ヒノキ+防腐防蟻塗装
基礎幅木	コンクリート打放シ撥水剤塗布
雨樋	ガルバリウム鋼板樋
雨受	地場産天然石敷込み





現代町家～長州町家～

2010年4月2日 初版発行

2010年6月4日 改版発行

発行所 株式会社カネイ

山口県防府市新田432-1

郵便番号 747-0825

本書の一部、または全部を、無断で複写、複製、転載、
あるいは、電子媒体などに入力することを禁止します。